

フランシスコ・ゴヤ版画展

『気まぐれ』『戦争の惨禍』

Prints of Francisco Goya:

<Los Caprichos> and <Los Desastres de la Guerra>

- 会 期 : 2006年1月4日(水)～3月26日(日)
 休 館 日 : 月曜日[ただし1月9日(月)は開館]、
 祝日の翌日[1月10日(火)、3月22日(水)]
 開館時間 : 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 観 覧 料 : 一般250(150)円 20歳未満・学生150(100)円
 ()内は20名以上の団体料金です。
 65歳以上の方、高校生以下の方、障害者の方は無料です。
 会 場 : 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館
 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-8-1 tel. 0467-22-7718
 主 催 : 神奈川県立近代美術館



1



2



3



4

ナポレオン戦争を背景にヨーロッパが近代へと向かう18世紀末から19世紀初頭の激動期に鋭い洞察で人間の愚かさや残酷さを描き出したスペインの画家ゴヤの版画集『気まぐれ』(1797-98)と『戦争の惨禍』(1810-15頃)、計160点を紹介します。



5



6

『気まぐれ』

1. No.1 《フランシスコ・ゴヤ・イ・ルシエンテス、画家》
2. No.43 《理性の眠りは怪物を生む》
3. No.61 《彼女は飛び去った》
4. No.75 《われわれを解放してくれる者はいないか》

『戦争の惨禍』

5. No.1 《来たるべきものへの悲しき予感》
6. No.37 《これはもっとひどい》

フランシスコ・ゴヤ(Francisco Goya, 1746-1828) スペインの画家、版画家。1767-71年にローマで学び、その後スペインのカルロス3世とカルロス4世のマドリッド宮廷で肖像画、歴史画、タピスリーの原画を描き、また、マドリッド美術アカデミーの院長を務めた。啓蒙主義運動に密接に関わったものの、1808年のナポレオンによるスペイン侵略や聴力を失ったことによって、孤独な生活を送るようになり、自宅に閉じこもって幻覚のような「黒い絵」を壁に描いた。1823年にスペインを離れ、ボルドーで没した。

■併陳：松本竣介・麻生三郎のドローイング

詳しくは、美術館ホームページに掲載される下記のプレス情報をご覧ください。

http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2006r_goya.pdf

お問い合わせ先：神奈川県立近代美術館 葉山 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
 tel.046-875-2800 / fax.046-875-2968 広報担当: 忌部 展覧会担当: 初山
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/>